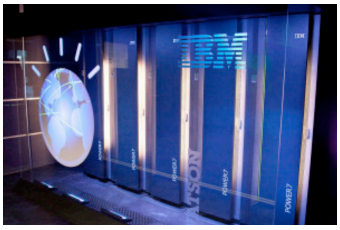
GSC
合田外科新聞
ホームページ　www.godageka.jp
ブログ　www.kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp

平成30年10月
第86号
合田外科
TEL　0797-71-2132
FAX　0797-74-1430

最近の話題：ＡＩと医療



最近ＡＩという言葉をよく見たり聞いたりしますが、さてこれはいったい何なのでしょうか？実はＡＩはＡｒｔｉｆｉｃｉａｌ－Ｉｎｔｅｌｌｉｇｅｎｃｅの略で日本語では人工知能と訳されます。それでは人工知能とは何かというと、はっきりした定義はまだないようですが、「人工的に作られた人間のような知能」と考えられます。人工的な知能となるとアトムやドラえもんのようなロボット、あるいは映画「ターミネーター」に登場した人類を抹殺しようとするスカイネットと呼ばれる自我を持ったコンピューターなどが思い浮かびますが、残念な事に、あるいは幸いな事に、現在のＡＩはこのようなレベルには全く達していません。昨年、グーグルが開発したＡＩのアルファ碁が、中国の世界トップ棋士である柯潔９段に３番勝負で３戦全勝を飾りました。機械が人間に碁で勝つのにはまだ数十年以上はかかると言われていただけに世界中に大きな衝撃を与え、ＡＩ恐るべしという風潮が生まれました。しかしこのＡＩは確かに非常に優れてはいますが碁以外には何も出来ません。現在のＡＩは全てこのようにある特定の領域に特化して能力を発揮する特化型人工知能と呼ばれるもので、人間のように自律的に学び、意思決定を行う事ができる汎用型人工知能はまだ開発の目処すらたっていません。では医療に関してＡＩはどのような役割を果たせるのでしょうか？医療ではまず画像診断に役立ちそうです。画像診断とはレントゲンやＣＴ、ＭＲＩなどの画像検査に基づいて病気の診断を行う事で、現在は放射線科の専門の医師が行っています。多くの画像から異常な部位を見つけ出すのは経験豊富な医師でも難しい事がありますが、大量のデータを処理する事ができるＡＩならば微細な異常でも見つける事ができるのではないかと期待されています。またＩＢＭのワトソンというＡＩは多くの研究文献を解析し、診断が困難な症例でも最適な治療方針を提示する事を目標としています。ＡＩはこれからも進歩し、医療においても大きな変革がもたらされる事でしょう。しかし決して人間の医師の代わりは務まりません。何故なら「手」を持たないＡＩには「手当」は出来ませんので。



病気の知識：心・神経の病気：② 鬱病



鬱病は、精神的・身体的ストレスが重なるなどして脳の機能障害が起きている状態で、眠れない、食欲がない、一日中気分が落ち込んでいる、何をしても楽しめないといった症状が起こります。脳がうまく働いてくれないので、物の見方が否定的になり、自分がダメな人間だと感じてしまいます。また鬱病では精神面よりむしろ肉体面に症状、例えば疲れ、動悸、肩凝り、目眩などが現れる場合もあり多彩です。何となく調子が悪いのに検査をしても異常が見つからない場合には鬱病の事があり、このような場合には心療内科を紹介しています。どうかなと思ったら一度ご相談下さい。

医院よりのお知らせ

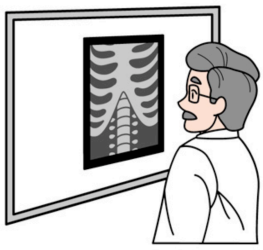
①インフルエンザワクチンのお知らせ



今年もインフルエンザワクチンの季節がやって来ました。接種は１０月１５日（月）からとなります。昨シーズンはワクチン製造不良のため大幅なワクチン不足となり大変にご迷惑をおかけ致しました。今シーズンは必要十分な量が確保されているようですが、時期が遅くなると足りなくなる恐れがありますので早目に受けるようにしましょう。６５歳以上の宝塚市民の方は１５００円の窓口負担となります。また西宮市等の近隣にお住まいで市役所で証明書をもらってきて下さった高齢者の方も１５００円の負担金で接種を受けられます。６０歳以上で特定の疾患をお持ちの方（身体障害１級等）の場合にも１５００円で接種が可能な事があります。なお一般の方の任意接種の料金は右表の通りです。詳しくは窓口でお尋ね下さい。１３歳以上の方は１回接種で十分とされています。

	接種回数	１回目料金	２回目料金
６５歳以上	１回	１５００円	
１３歳以上６５歳未満	１回	３５００円	
５歳以上１３歳未満	２回	３５００円	３０００円

②平成３０年度宝塚市肺がん検診後期日程



７・８月と中断していた宝塚市肺がん検診が９月より再開しました。９・１０・１１月の３ヶ月が検診期間となっていますので、まだお済みでない方はお早目に受診をお願い致します。４０歳以上の市民が対象で、宝塚市国民健康保険加入の方や７０歳以上の方、また市民税非課税世帯の方は無料で受ける事ができます。レントゲン写真は宝塚市肺がん読影委員会で専門の医師が再度チェックを行い、より正確な検診を目指しています。

③清掃パートさん募集！！



院内清掃のパートさんを募集しています。お知り合いでご興味がおありの方がいらっしゃいましたら是非ともご紹介をお願い致します。採用のあかつきには**ご紹介者様にも謝礼を致します**。

【勤務条件】月曜～土曜／午前７時半～１０時（変更可）／時給８７０円以上／年齢不問／交通費全額支給

【新】今そこにある危機：⑧ 高額療養費制度



「高額療養費制度」は、病院や薬局で支払った医療費が、１カ月の上限額を超えた場合に、超えた分の金額が戻ってくる制度です。今年の８月１日から、７０歳以上で一定以上の年収がある「現役並み」の人の高額療養費の上限が引き上げられました。これまで、「現役並み」は、年収が「３７０万円以上」でひとまとめになっていました。今回の改正では、これを３つに分割し、収入が多い人の自己負担限度額を引き上げます。つまり、同じ「現役並み」であっても、収入が多い人は、自己負担する金額が多くなってしまうのです。具体的には、これまで月に８０１００円が上限だったのが、年収７７０万円～１１６０万円は１６７４００円に、またそれ以上は２５２６００円に上げられます。従来、高齢者であれば一律に負担が軽くなる制度が多かったのですが、今後は、年齢だけを基準にする制度は減っていきます。これからは、同じ年齢であっても、個人の負担能力によって金額が変わる場面が増えていくでしょう。

合田外科新聞

GSC

ホームページ　www.godageka.jp
ブログ　www.kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp

平成31年1月
第87号

合田外科
TEL　0797-71-2132
FAX　0797-74-1430

最近の話題：消費増税と社会保障



今年は天皇陛下が退位され、３０年間続いた平成の時代が終わりを迎えます。新たな時代の始まりですが、１０月にも大きな出来事が控えています。ご承知の通り消費税が８％から１０％に上がる予定なのです。税金が上がって喜ぶ人はいませんが、何故このようなタイミングで増税が必要なのでしょうか？それには現在の我が国の社会状況を理解する必要があります。社会保障は個人のリスクである病気・怪我・出産・障害・老化・失業などに対して生活を安定させるため、医療や介護、また年金や子育てなどにかかる費用の負担を社会全体で分かち合い、支え合う制度です。我が国では１９６１年に国民皆保険・皆年金制度と言われる現在につながる社会保障制度の基礎が作られました。当時の日本は戦後間もなく、まださほど豊かな国ではありませんでしたが、この制度のおかげで大きな所得格差を作らずに社会が安定し、高度経済成長の波に乗って日本の経済が大きく成長したのです。当時の人口構成は１５～６４歳の現役世代（生産年齢人口）が７０％近くを占め、６５歳以上の高齢者は７％程度でした。それが２０１５年にはそれぞれ６０％、２７％となり、２０６０年には５１％、４０％程になると見込まれています。すなわち急速な少子高齢化の進展によって、社会保障の費用を現役世代だけでは賄えなくなってきているのです。２０１７年度では社会保障費はおよそ３２兆円となり、３０年前の３倍に達しています。またそれに伴って国の借金である国債の発行も３４兆円と３０年前の５倍になっています。日本は世界で最も財政状況が悪く、このままの状態を維持することは極めて困難です。そこで景気に左右されない安定した財源として消費税が適当となった訳です。このことは１０年以上前から２度の政権交代を挟んで論議され続けており、「社会保障と税の一体改革」として政府の大きな方針となっています。後の世代に過剰な負担を残さないために、ここは涙を呑んで増税を受け入れる必要がありそうです。



病気の知識：心・神経の病気：③ ノイローゼ



ノイローゼはかつては「神経症」を指していましたが、神経症の概念が幅広いため、現在では正式な医学用語としては用いられていません。この中には、特定の行為や思考から離れられず生活に支障をきたす「強迫神経症」や、過剰な不安があり動悸や息苦しさが起こる「不安神経症」、また特定の状況に対して激しい不安と恐怖が起こる「恐怖症」などが含まれます。何度も何度も手を洗ってしまう潔癖症や、高い場所や狭い場所で恐怖が生じる高所恐怖症や閉所恐怖症はよく耳にします。これらに対しては抗不安剤や抗鬱剤を用いたり精神療法で対処していきます。

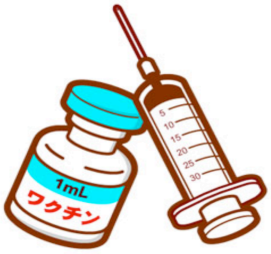
医院よりのお知らせ



①新年のご挨拶

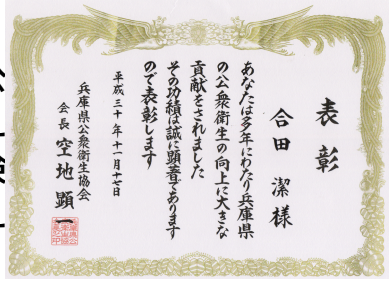
皆様、あけましておめでとうございます。旧年中はご来院の患者様には大変に良くして頂き誠にありがとうございました。今年もどうか宜しくお願い申し上げます。さて昨年は皆様にとってどのような１年間でしたでしょうか？１年間という時間は過ぎてみればあっという間ですが、なかなかどうして長い時間であります。幸いにして大過なく過ごせた方もいらっしゃれば、大変に辛い思いをされた方もいらっしゃることでしょう。今年が皆様にとって良き１年となりますよう、心から願っております。私はと言えば今年で５３歳になり、開業してはや１９年目となります。いつまでも若者の気分でいましたが、髪は白くなり出し、老眼で近くは見えにくく、年齢を感じることが多くなってきました。それでも一念発起のダイエットはかろうじて維持できていますので、今年も運動を続けながら体に気を付けて過ごしていきたいと思っています。

②インフルエンザ予防接種に関して



今シーズンは昨シーズン以上にインフルエンザワクチンの供給が不足しており、１２月末にてワクチンメーカーにも全く在庫が無い状況となってしまいました。当院でも鋭意、ワクチン確保に努めましたがいかんともしがたく、今シーズンのインフルエンザワクチン接種は年末にて終了させて頂きました。毎年接種されている方の分は辛うじて確保できたとは思っておりますが、ご迷惑をおかけすることになり申し訳ありませんでした。

③表彰されました！


表彰

合田 潔様

あなたは多年にわたり兵庫県の公衆衛生の向上に大きな貢献をされましたその功績は誠に顕著でありますので表彰します

平成三十年十一月十七日

兵庫県公衆衛生協会
会長 空地 顕

先日、兵庫県健康財団に表彰して頂いたばかりなのに、今回、兵庫県公衆衛生協会から表彰状を頂きました。公衆衛生では生活習慣病対策や伝染病予防など個人を越えた地域社会全体の健康問題を取り扱いますが、長年の検診や予防接種活動などが評価されました。これもひとえに皆様のお陰であると感謝しております。

【新】今そこにある危機：⑨ 妊婦加算



昨年４月の医療改定で、新たに「妊婦加算」という項目が制定されました。妊娠されている方を診療する際には、特に胎児に対しての影響を考慮に入れなければなりません。例えば妊娠の初期ならば胎児に影響がありうるレントゲン検査や薬剤は注意が必要ですし、妊娠後期でも消炎鎮痛薬などは子宮収縮を引き起こして早産する恐れがあり、避けなければなりません。このように妊娠されている方の診療は難しい面があり、なかなか通常の医療機関では診察を受けれないという状況がありました。そこで妊娠されている方への特別の配慮を評価し、診察料を上乗せして、多くの医療機関で診療を受けれるようにするために「妊婦加算」が出来ました。しかし一般に対しての趣旨の周知が十分ではなく、またコンタクトレンズ処方でも算定されるなど不適切な事例もあり、この制度は凍結される運びとなりました。非常にゴタゴタがありましたが、少子化を見据えた適切な対応が望まれます。

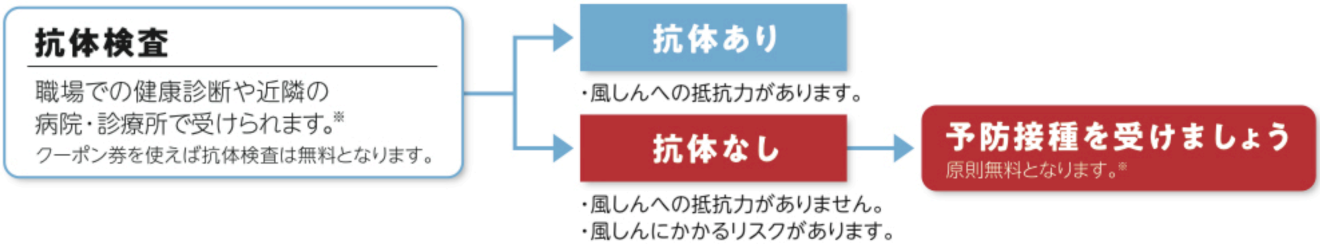
GSC
合田外科新聞
ホームページ　www.godageka.jp
ブログ　www.kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp

平成31年4月
第88号
合田外科
TEL　0797-71-2132
FAX　0797-74-1430

最近の話題：風疹第５期予防接種



風疹は風疹ウイルスによって引き起こされる急性の発疹性感染症で、感染力が強く、唾を介した飛沫感染で人から人にうつります。感染すると２～３週間後に発熱・発疹・リンパ節腫脹などの症状が現れますが、まれに脳炎や血小板減少性紫斑病といった重篤な合併症が発生することもあります。また大人では子供より罹患期間が長く、関節痛も強いことが多いとされています。風疹に特徴的な点として、風疹に対する免疫が不十分な妊娠２０週頃までの女性が風疹ウイルスに感染すると、高い確率で目・耳・心臓等に障害を持つ子供が出生することがあり、先天性風疹症候群と呼ばれています。妊娠中の女性は予防接種を受けることができないので非常に重要な問題です。かつては５年毎に大流行していた風疹ですが、平成６年以降は多少の増減はありましたが一旦落ち着きを見せていました。それが平成２３年より海外で感染して帰国後発症する輸入例が散見されるようになり、１００名を越える先天性風疹症候群の報告がなされるようになりました。そこでこの度、風疹の蔓延を防ぐため、小児期に風疹の予防接種を受ける機会がなかった昭和３７年４月２日～昭和５４年４月１日生まれの男性に無料で予防接種（第５期）を行うことになった次第です。対象の方にはクーポン券が送られてきますので、ご確認の上、ぜひ接種を受けるようにして下さい。



病気の知識：心・神経の病気：④ 認知症



認知症では脳の働きが低下することによって様々な症状が生じます。食べた物だけでなく食べたこと自体を忘れてしまう記憶障害や今日の日付けや今いる場所が分からなくなる見当識障害などが主ですが、その他にも徘徊・幻想・妄想などの周辺症状が出現することもあります。認知症の原因は様々ですが、最も多いのはアルツハイマー病です。アルツハイマー病では大脳の海馬と呼ばれる記憶に関係する部位が委縮します。病態は分かってきてはいますが治療は難しく、薬剤の開発も多くは失敗しています。治そうとするよりもうまくつき合っていくのが大事だと思われます。

医院よりのお知らせ

①健診・検診開始



４月より２０１９年度の健診・検診が始まります。当院では宝塚市国民健康保険特定健康診査（メタボ健診）と高齢者の方の宝塚市後期高齢者健康診査を行います。対象の方には宝塚市より案内状が届きますのでお持ち下さい。またがん検診として、肺がん検診・大腸がん検診・肝炎ウィルス検診・前立腺がん検診や胃がんリスク検診も行っておりますので、併せて受診下さい。

検診種類	期間	対象	内容	料金
宝塚市国民健康保険特定健康診査	4/ 1(2019)～2/28(2020)	４０歳～７４歳の宝塚市国民健康保険加入者	身体計測・血液検査・尿検査等	無料
宝塚市後期高齢者健康診査	4/ 1(2019)～2/28(2020)	７５歳以上の宝塚市民で兵庫県後期高齢者医療加入者	身体計測・血液検査・尿検査等	無料
肺がん検診	4/ 1～ 6/30(2019) 9/ 1～11/30(2019)	４０歳以上の宝塚市民	胸部レントゲン撮影	５００円
大腸がん検診	4/ 1(2019)～2/28(2020)	４０歳以上の宝塚市民	検便（便潜血検査）	５００円
肝炎ウィルス検診	4/ 1(2019)～2/28(2020)	４０歳以上の宝塚市民で過去に肝炎検診未受診の方	血液検査（肝炎ウィルス）	１２００円
前立腺がん検診	4 /1(2019)～2/28(2020)	５０歳以上の宝塚市民（男性）	血液検査（腫瘍マーカー）	１３００円

（注）肺がん検診・大腸がん検診・肝炎ウィルス検診は市民税非課税世帯・７０歳以上・宝塚市国民健康保険加入者・生活保護世帯は無料です。また前立腺がん検診は生活保護世帯は無料です。

②ゴールデンウィーク

天皇陛下の退位、皇太子殿下の即位に伴い、今年は４月２８日（日）より５月６日（月）まで日本中が休日となります。当院も暦通り、４月２８日（日）から５月６日（月）まで休診とさせて頂きます。宝塚市内では休日応急診療所や各病院が分担して休みの間の診療を行う取り決めとなっています。宝塚市医師会・宝塚市のホームページにて診療医療機関が確認できます。ご来院の患者様には大変にご迷惑・ご不便をおかけ致しますが、何卒ご了承を願います。なおかかりつけの患者様向けのメールアドレスを設置しましたので、緊急の折にはご利用下さい。

休診期間：４月２８日（日）～５月６日（月）

連絡アドレス：ｇｏｄａｇｅｋａ.ｇｏｌｄｅｎｗｅｅｋ@ｇｍａｉｌ.ｃｏｍ

【新】今そこにある危機：⑩ リビング・ウィル



最近、東京都の公立福生病院で、透析中の女性が透析治療を止める選択肢を主治医に提示され、その後に亡くなった事例が報道されました。今回の場合には女性が末期状態であったかが明かではなく、ガイドラインに沿った勧奨であったかは現時点でははっきりしませんが、近年、「尊厳死の権利を主張して、延命治療の打ち切りを希望する」などの意思表示を行うことが広まりつつあり、リビング・ウィル（生前の意志）と呼ばれています。現代の医学では、回復の見込みが無く、命が尽きかけている方でも、口から管を入れて人工呼吸器に繋ぎ、胃に穴を開けて栄養チューブを入れることによって、ある程度の延命ができることがあります。但し一旦このような処置を施すと、本人の意思に関わらず医師の側から治療を中断することは困難で、かえって苦痛を長引かせることもままあります。元気なうちから人生最後のことを考えるのは気が滅入りますが、準備する必要があるかもしれません。

GSC
合田外科新聞
ホームページ　www.godageka.jp
ブログ　www.kiyoshi-goda.cocolog-nifty.com/jp

令和01年7月
第89号
合田外科
TEL　0797-71-2132
FAX　0797-74-1430

最近の話題：ポリファーマシー



ポリファーマシーという言葉をお聞きになった方はあまりいらっしゃらないでしょうが、最近、医療関係者の間でよく使われている言葉です。複数を表す「ポリ：ｐｏｌｙ」と調剤を表す「ファマシー：ｐｈａｒｍａｃｙ」とを組み合わせた言葉で、様々な要因によって「必要以上の医薬品を使用している状態」と定義することができます。特に高齢の方では慢性疾患をいくつも持っていらっしゃる方が多く、必然的に薬剤の種類も多くなりがちです。しかし、例えば整形外科で鎮痛薬を処方してもらった際に胃への負担を減らす胃薬も処方してもらう場合がありますが、実は内科でも胃薬が処方されていたということはよくあります。このような時にはどちらかの胃薬を減らすことができるかもしれません。また使用している薬剤の副作用と気付かず、その副作用の症状を抑えるために更に薬剤が追加される場合もあり得ますが、このような時には最初の副作用を起こしている薬剤を変更すれば、副作用の症状を抑えるために追加で処方した薬剤を減らすことができるかもしれません。多くの医薬品を使用していても、患者さんの治療や健康管理に必要な場合にはポリファーマシーとは言えませんし、使用している医薬品の数が少なくても、医薬品同士の相互作用が疑われたり、同じ成分の医薬品が重複している場合にはポリファーマシーの可能性があります。ですから医薬品の数だけでは決められませんが、６種類以上の薬剤を使用している場合に有害な出来事が増えるというデータがあり、これが一応の目安となっています。ポリファーマシーに対してはまずかかりつけの医師と薬剤師が患者さんの服用している薬剤のデータを共有することが第一歩となります。そのためには「薬手帳」を活用するのがいいでしょう。患者さんの中には時々、医療機関毎に違った「薬手帳」を使っている方もいらっしゃいますが、自分の服用している薬は一冊にまとめる必要があります。今年の８月からは７５歳以上で多種類の薬剤を服用されている方に、兵庫県後期高齢者医療広域連合より通知書が送られてくるそうです。通知書が届いたからといって直ちに薬を減らさなければならない訳ではありませんが、ポリファーマシーを考えるきっかけにしたい様です。

病気の知識：骨・筋肉の病気：① 腰痛症



腰痛は多くの方が煩っている問題です。ほ乳類の骨格は元来四本足歩行に適した作りになっていますが、進化の過程で二本足歩行になった人間では腰椎への負担が大きくり、痛みが出やすくなったと言われています。腰痛の多くは老化が関係しており、骨が変形する変形性腰椎症や神経が通る道が狭くなる脊柱管狭窄症などがあります。また若い方でも腰椎の骨の間のクッションである椎間板がずれる椎間板ヘルニアがしばしば見られます。多くの腰痛は安静にすると多少なりとも改善しますが、じっとしていても強い痛みがある場合は内臓が原因のこともあり注意が必要です。

医院よりのお知らせ



①熱中症に気をつけましょう！

昨年は記録的な猛暑となり、大勢の方が熱中症にかかられました。今年はエルニーニョ現象の影響で、全国的にほぼ平年並みの暑さと予想されていますが、油断は禁物です。熱中症は気温が高い時や激しい運動などで体内にたくさんの熱が発生すると起こり易い病気です。しかし時には屋内でじっとしていても起こることがあり、外に出ないからといって安心はできません。症状は軽い場合には手足の筋肉に痛みを伴う痙攣が起こる程度ですが、ひどくなると目眩・頭痛・嘔吐などが起こったり、極端な場合には意識をなくして死亡してしまうこともあります。熱中症を防ぐためにはしっかりと水分を摂り、暑さを避けることが大切です。扇風機やエアコンを賢く利用して室温が上がり過ぎない様に注意しましょう。また外出する時には日傘や帽子を忘れず、こまめに休憩をとる様に心掛けて下さい。水分は室内でも外出時でも、喉が乾く前に定期的に摂りましょう。調子がおかしい時には我慢せずに、早目に受診して下さい。

②お盆休みに関して

日	月	火	水	木	金	土
8/11 山の日	8/12 振替休日	8/13 お盆休	8/14 お盆休	8/15 お盆休	8/16	8/17
休	休	休	休	休	診療	診療

お盆休みは例年通り８月１３日（火）～１５日（木）の３日間を予定しています。今年は「山の日」が８月１１日の日曜日と重なり、８月１２日の月曜日が振替休日となりますので、実際には８月１１日（日）～８月１５日（木）の５日間休診となります。ご来院の患者様にはご不便・ご迷惑をおかけ致しますが、どうかご了承願います。

阪急小林駅 阪急「小林」駅より徒歩7分
准看護師
駅チカ!通勤ラクラク♪ブランクある方もOKです!
幅広い年代のスタッフ活躍中のクリニックです♪
【資格】准看護師免許
【給与】午前 時給1,420円～
午後 時給1,720円～
【時間】(午前) 9:00～12:00
(午後) 16:00～19:00
☆週2～3回(相談の上)
【休日】土曜午後・日曜・祝日
【待遇】昇給有、交通費全額支給、制服貸与
【応募】まずは、お気軽にお電話下さい。
※委細面談にて。
合田外科
宝塚市光明町29-7
(阪急「小林」駅より東へ徒歩7分)
☎0797-71-2132(採用係)
http://www.godageka.jp/

③看護師募集

右記の要項で看護師さんを募集しています。６０歳以上の方・ブランクのある方も歓迎致します。

【新】今そこにある危機：⑪ 医師過剰労働問題



最近、医師の過剰労働問題がマスコミに取り上げられる様になってきました。従来、社会一般の過労死防止のため、厚生労働省を中心に長時間労働対策が図られてきましたが、特に電通の過労死事件以後はこの流れが強化されています。このような中で、２０１６年には東京の聖路加病院で夜間・休日勤務に対する賃金支払いと時間外勤務の是正勧告が中央労基署よりなされました。また女性研修医の過労自殺によって２０１７年には新潟市民病院も是正勧告を受けました。医師の過剰労働は特に大きな病院の若手の医師において顕著に見られます。昔は休日も関係なく病院に行き、また平日も病院に泊まり込むのが当たり前でしたが、医師自身の健康を考えると、このような長時間労働には大きな問題があります。それでも現在の医療体制をすぐに変えることは困難で、年間２０００時間程度の時間外労働が必要な場合もある様です。持続可能な医療体制を築くためにも社会全体の理解が必要だと思われます。

合田外科新聞

https://www.godageka.jp

令和元年１０月号（第９０号）

電話：0797-71-2132／ファックス：0797-74-1430

最近の話題：湿布が保険適応外！？



最近、健康保険組合連合会が「保険給付範囲の見直し」についての提言を行いました。この団体は企業が設立する全国の健康保険組合の連合組織として活動しており、加入者数は約３０００万人で、全国民の四分の一をカバーしています。今回の提言は保険財政の破綻を回避しようという意図の元に行われましたが、「医療機関で処方される薬のうち湿布・ビタミン剤・保湿剤・花粉症の治療薬など市販薬で代用できる物は保険適用外とする」という事が骨子となっています。医療の高度化に伴って医療費は増大し続けています。例えば最近保険適応となったノバルティスファーマ社の「キムリア」という白血病に対する薬剤は１患者当たり３３４９万円という非常に高額な薬価が認められました。また高齢化の進展によっても医療費は増加します。特に団塊の世代が後期高齢者となる２０２５年以降は医療費の急増が想定されています。このような中で医療費の抑制は確かに大きな課題でありますが、医療を受ける方々に大きな負担を強いる様では本末転倒です。日本医師会は「軽症患者を保険適応から外し、重篤な疾患のみを保険適応とする考え方は、経済的弱者の受診抑制、治療が難しい患者の見逃し、受診を我慢することでの重症化などの懸念があり、国民皆保険の崩壊にもつながりかねない」として健康保険組合連合会の提言を痛烈に批判しています。日本医師会から厚生労働省に対して申し入れを行いましたが、現時点においてはこのような保険給付を外す予定はないとの言明を得ました。しかし今後もこのような経済的な締め付けは度々行われるのではないかと思われます。日本医師会ではこのような動きに対しては断固として反対し、軽症患者だからといって決して軽んじられない様に政府と交渉してまいりますので、何卒ご支援をお願い致します。

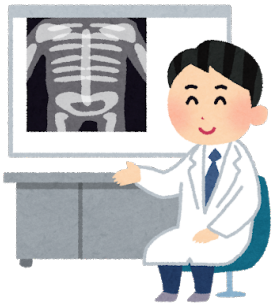
インフルエンザワクチンのお知らせ



今年もインフルエンザワクチンの季節がやって来ました。１０月１５日（火）から接種を開始致します。厚生労働省によると今シーズンは十分な量のワクチンが確保されているそうですが、途中で不足する事がよくありますので、早目に受ける様にして下さい。６５歳以上の宝塚市民の方は窓口負担１５００円で受ける事ができます。また西宮市等の近隣にお住まいの方でも住所地の市役所で証明書を発行してもらって来て頂ければ１５００円で接種が可能です。６０歳以上で特定の疾患をお持ちの方（身体障害１級等）の場合にも１５００円で接種可能な事がありますので窓口でお尋ね下さい。なお一般の方の任意接種の料金は下表の通りとなっています。当院では幼児は５歳以上から接種を行います。予約は不要です。

	接種回数	１回目料金	２回目料金
６５歳以上	１回	１５００円	
１３歳以上６５歳未満	１回	３５００円	
５歳以上１３歳未満	２回	３５００円	３０００円

肺がん検診後期日程



宝塚市の肺がん検診の後期日程は１１月末までとなっています。宝塚市国民健康保険に加入の方や７０歳以上の方、また市民税非課税世帯の方は無料で受診できますので是非お受け下さい。レントゲン写真は専門医が再チェックし、より正確な検診を心掛けています。



【編集後記】

今号より新聞のフォーマットをリニューアルしました。文字を大きく読み易くし、内容も絞り込んでいます。今シーズンはすでに沖縄でインフルエンザが流行している様で、全国に広がらないか心配です。予防接種はお早目に！！

院長　　合田　潔